

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		学校水泳授業支援事業						②事業番号		7504	
③事業類型		3. 政策推進事業			④開始年度		令和 1 年度	⑤終了予定年度		年度	○ 設定なし
⑥根拠法令等		○ 法令		条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 学習指導要領 他		
⑦実施手法		直営		○ 全部委託		一部委託		補助・負担		その他	
⑧関連予算科目コード				款		9		項		1	
								目		3	
⑨担当部名				⑩担当課名				会計			
教育部				指導課				一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 小、中学校児童生徒の実施人数	① 小、中学校児童生徒の実施人数	人
②	②	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
本事業は、泉南市立小学校の体育科及び同市立幼稚園の保育における水泳指導について業務委託することにより、プール施設、指導業務及び、移動手段を確保し、当該学校園における円滑な水泳指導に資する。	① 児童生徒1人当たりの実習回数	回
	② のべ実習人数	人
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、クロールや平泳ぎ等の技術を身に付けることができる。 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	① 「インストラクターの教えはよくわかりましたか」について「わかりやすかった」と答えた割合	%
	② 「今回の水泳学習でこれまでより上手になったか」について「そう思う」と答えた割合	%
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ることができる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	3 子どもが豊かな人間関係と学ぶ喜びを育むまちをめざします
	施策中	2 義務教育の充実
	施策小	1 生きる力の育成

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R3目標	
対象指標①	小、中学校児童生徒の実施人数	人		1,723	942	3,092	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②		人					—	
活動指標①	児童生徒1人当たりの実習回数	回		3	2	2	—	
活動指標②	のべ実習人数	人		5,169	1,884	6,184	—	R1年度より開始。 R2は新型コロナウイルス感染症による休業等に伴い、事業縮小。
活動指標③								
成果指標①	「インストラクターの教えはよくわかりましたか」について「わかりやすかった」と答えた割合	%		95%	96%	95%	—	
成果指標②	「今回の水泳学習でこれまでより上手になったか」について「そう思う」と答えた割合	%		86%	83%	85%	—	R1年度より開始。 R2は新型コロナウイルス感染症による休業等に伴い、事業縮小。
成果指標③								
事業費	投入人員	人		0.05	0.13	0.13		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	任期付職員	人		0.00	0.05	0.00		
	臨時職員	人		0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円		386	1,143	992		R1年度より開始。 R2は新型コロナウイルス感染症による休業等に伴い、事業縮小。
	直接事業費	千円		4,138	2,314	9,361		
	総事業費	千円		4,524	3,457	10,353		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0		R1年度より開始。 R2は新型コロナウイルス感染症による休業等に伴い、事業縮小。
	府支出金	千円		0	0	0		
	受益者負担金	千円		0	0	0		
	その他特定財源	千円		4,057	0	0		
	一般財源	千円		467	3,457	10,353		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	泉南市に学ぶ子どもたちに、最良の環境のもとで水泳学習ができるよう、また専門の指導員の指導の下、技術の向上を図るため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	開始年度の令和元年度は、幼稚園2園、小学校7校がサンエス温水プールを利用した。令和2年度からは、幼小中学校が利用する予定。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等					
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)		ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	市民のニーズや事業規模は、合っていると判断している。				

[2]有効性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。		ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	子どもたちの実施後のアンケートからもわかるように、95%以上がわかりやすく、楽しい学習であったと評価している。				
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)		ア. ある アイ. ない	令和2年度からすべての小学校、中学校、幼稚園が参加して水泳学習を実施する。				
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。		ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	類似の事業はありません。				

[3]効率性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)		ア. ある イ. ない	現時点では、安全確保のための監視員や専門指導員の配置数は、十分である。この状態を維持していきたい。				

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	児童生徒にとって、室内温水プール高温下での屋外プールでの実習による熱中症のリスクの軽減、紫外線から皮膚を守ることが可能。天候に左右されることなく水泳授業が実施できる。1つの班にインストラクターと教員の複数による専門的な指導を受けることができる。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>		ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 ↓ ↓ ↓ (___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)
<今後の展開方針>		a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—